

概要

自立活動や、個別の指導計画の作成・活用に係る講義・演習等を通して、すべての園児・児童・生徒に対する支援体制を充実させるための実践的指導力の向上を図ることをめざし、研修会が行われました。

自立活動の基本的な考え方について

大分県教育庁 特別支援教育教育課 指導主事 後藤由美

1 自立活動とは

特別支援教育の土台、中核となる指導
各教科等において育まれる資質・能力を支える役割

2 自立活動の内容

- 1 健康の保持
- 2 心理的な安定
- 3 人間関係の形成
- 4 環境の把握
- 5 身体の動き
- 6 コミュニケーション



通常の学級における「個別の指導計画」の作成と活用

佐伯支援学校 個別の指導計画推進教員 衛藤 博朗

1 個別の指導計画の作成手順及び必要性

- ・実態を具体的な姿で把握
- ・短期・長期目標の達成
- ・指導体制・指導方針の共有
- ・個別の指導計画のメリット



2 合理的配慮

- ・平等と公平
- ・様々な個別の配慮の例
- ・学校全体で取り組む配慮の例

3 校内支援体制（校内委員会の設置）

- ・委員会の役割・メンバーの役割・年間計画例

【参加者の感想】

- ・個別の指導計画を作って終わりではなく、学校の中で先生方と共有することの大切さを、研修を通して感じたので、校内研修を充実させていきたいと感じた。
- ・会議の効率化を図るためのアドバイスが参考になった。様式を作ることで、話し合いの視点が持て、かつ焦点化した話し合いができると分かった。次回会議を持つときに作成したいと思う。また、年間計画を作成すると、特別支援教育に関わることを共通理解し見通しを持って、個別の指導計画作成や保護者面談の対応ができると思った。